

令和 7 年度 予算案の主な事業

I 未来を担う子供を育む 環境整備の促進	<p>新規 1 補助教材費等支援</p> <p>2 特別支援教育振興／小学校特別支援学級運営</p> <p>新規 3 チャレンジクラスの整備／校内別室指導支援員の配置</p> <p>4 こどもクラブ整備助成</p> <p>5 放課後子供教室運営</p> <p>6 産前産後の支援の充実</p> <p>7 初心者スポーツ教室／リバーサイドスポーツセンター維持修繕</p>
II 福祉の充実と 健康づくりの推進	<p>新規 8 ICTを活用した健康づくり活動支援</p> <p>9 認知症高齢者支援の推進</p> <p>新規 10 高齢者緊急一時宿泊</p> <p>11 かがやき長寿ひろば／地域による介護予防活動への支援</p> <p>12 がん検診</p> <p>13 はばたき21相談室</p> <p>14 千束保健福祉センター整備／千束健康増進センター改修／ 千束自転車保管所改修／防災用千束職員住宅改修／ ほおずきの家大規模改修</p>
III 安全・安心で快適に 住み続けられるまちづくり	<p>15 災害対策本部機能の充実／水・食料・生活必需品の備蓄／ 井戸・備蓄倉庫等の維持管理／帰宅困難者対策の推進</p> <p>新規 16 総合自転車対策</p> <p>17 上野地区まちづくり推進</p> <p>18 鶯谷駅周辺まちづくり検討</p>
IV 花と緑を活かした 環境の充実	<p>19 プロジェクト普及啓発／地域緑化推進</p> <p>20 国内都市交流推進</p> <p>21 我が社の環境経営推進</p>
V DX推進と 行政サービス向上	<p>新規 22 職員のICTリテラシー向上／スマート窓口の整備</p> <p>23 まちづくりDXの推進</p> <p>新規 24 おくやみコーナー運営</p> <p>25 いっとき保育／要保護児童支援ネットワーク</p>
VI 魅力にあふれ 活力あるまちの実現	<p>26 大河ドラマ「べらぼう」活用推進（まちの賑わい創出の取組み）</p> <p>27 大河ドラマ「べらぼう」活用推進（区内事業者支援による地域活性化）</p> <p>28 生誕100年 朝倉響子展</p> <p>29 観光統計・マーケティング調査の実施／海外プロモーション推進</p> <p>30 上野の山文化ゾーンフェスティバル／江戸まちたいとう芸楽祭</p> <p>31 経営相談</p> <p>32 企業・人材育成支援</p>

事業名

1 補助教材費等支援

新規

予算額

3億1,561万円

★ ここがPOINT ★

▽ 小中学校で使用する補助教材・学用品等に係る費用を支援



事業概要

■ 事業内容

対象	支援内容
<ul style="list-style-type: none"> 区立小中学校 区内在住の特別支援学校に通う児童・生徒 	補助教材や学用品等 (ドリル・資料集等の補助教材、リコーダー・習字道具等の学用品)

■ 背景

- 国が実施した子供の学習費調査の結果、小中学校での教育活動に要する費用は増加傾向にあり、小中学校において、学校で使用する教材や学用品等に係る費用の割合が大きい状況である。
- 本区が実施した次世代育成支援に関するニーズ調査の結果、子育て支援として、家庭の経済的支援の強化を求める回答が多い。

■ 目的

- 学校の教育活動において使用する補助教材や学用品等に係る費用を支援することで、保護者の経済的負担を軽減し、教育環境と子育て支援の更なる充実を図る。

■ スケジュール

時期	内容
令和7年4月	支援実施

事業名

2 特別支援教育振興
小学校特別支援学級運営予算額
(うち該当経費)8,436万円
(2,014万円)

★ ここが POINT ★

▽ 令和8年4月に石浜小学校で自閉症・情緒障害
特別支援学級を新設

事業概要

■ 事業内容

- 令和8年4月に石浜小学校で自閉症・情緒障害特別支援学級(※)を新設

※ 自閉症・情緒障害特別支援学級

全般的な知的発達の遅れはないが、自閉症や情緒障害があり、通常の学級での指導では十分な成果を上げることが難しい児童・生徒のために、小集団で日常的にきめ細かな指導を行う固定学級

■ 背景

- 近年、特別な教育的支援を必要とする児童・生徒は増加しており、本区の知的障害特別支援学級や特別支援教室に在籍・在室する児童・生徒数も増加傾向となっている。
- 特別支援教室での指導ではその効果が十分に表れにくい児童・生徒に向けて、教育的支援を充実させることが必要となっている。
- 令和6年3月に策定した「区立小中学校特別支援学級の整備に関する方針」に基づき、個々の障害種別や特性に応じた環境の整備を推進している。

■ 目的

- 障害のある児童・生徒の自立や社会参加に向けて、特別支援教育を必要とする子供たちがその能力を最大限に発揮できる学びの場を提供する。

■ スケジュール

時期	内容
令和7年4月～	環境整備、相談等実施
令和8年4月	自閉症・情緒障害特別支援学級新設

※ 令和9年4月に御徒町台東中学校で自閉症・情緒障害特別支援学級を新設予定。

事業名

3 チャレンジクラスの整備
校内別室指導支援員の配置

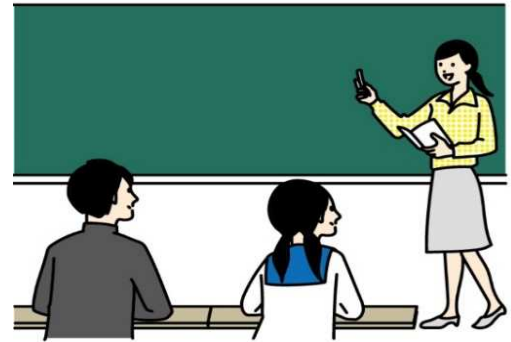
新規

予算額

3,466万円

★ ここがPOINT ★

- ▽ チャレンジクラスの設置
- ▽ 校内別室指導支援員の配置



事業概要

■ 事業内容

事業	内容	設置校・配置校
チャレンジクラスの整備 (東京型不登校特例校)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校内に分教室を設け、教員を配置 ・ 生徒それぞれの実態に応じた教育課程による授業を実施 	上野中学校
校内別室指導支援員の配置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き教室等を活用した学習の場において、見守りや学習支援等を行う校内別室指導支援員を配置 	区立全小中学校

■ 背景

- ・ 国の調査の結果、全国の不登校の児童・生徒数は34万人を超え、過去最多となっており、本区の不登校児童・生徒数も増加傾向となっている。

■ 目的

- ・ 不登校の生徒が安心して学校生活を送ることができるようなゆとりある生活時程等を実現し、チャレンジクラスに在籍する生徒の実態に応じた支援を行う。
- ・ 校内別室指導支援員の支援等により、不登校の未然防止や早期解決を図り、個別最適な学びの充実や社会的自立の一助とする。

■ スケジュール

時期	内容
令和7年4月	チャレンジクラス設置 校内別室指導支援員配置

担当課:指導課
電話:03-5246-1450

担当課:教育支援館
電話:03-5246-5920

事業名

4 こどもクラブ整備助成

予算額

1,764万円

★ ここがPOINT ★

- ▽ 民設こどもクラブを誘致(令和8年度開設予定)
- ▽ 台東育英小学校周辺地域に開設



事業概要

■ 事業内容

- ・ 民設こどもクラブ設置運営事業者に対し、施設整備費用を助成

整備予定地域	台東育英小学校周辺地域
整備予定数	1か所
定員規模	40人程度

■ 背景

- ・ こどもクラブ待機児童の解消に向け、「こどもクラブ待機児童対策緊急3か年プラン」に基づき、こどもクラブ新設等の対策を実施している。
- ・ 旧柳北小学校を活用した浅草橋こどもクラブの定員拡大は令和8年度末で終了予定であるが、周辺地域のこどもクラブ需要は増加傾向となっている。

■ 目的

- ・ こどもクラブ需要が特に増加している台東育英小学校周辺地域に、民設こどもクラブを誘致・開設することで、必要な定員を確保する。

■ スケジュール

時期	内容
令和7年7月	設置運営事業者の公募開始
令和8年4月	民設こどもクラブ開設

事業名 5 放課後子供教室運営

予算額 4億3,399万円
(うち該当経費) (5,741万円)

★ ここが POINT ★

- ▽ 放課後子供教室の実施校拡大
- ▽ 一部の放課後子供教室で実施時間延長



事業概要

■ 事業内容

- 放課後子供教室の実施校を拡大

実施校	台東育英小学校、富士小学校(17/19校に拡大)
-----	--------------------------

- 一部の放課後子供教室の実施時間を18時まで延長

実施校	上野小学校、平成小学校、浅草小学校(5/19校に拡大)
-----	-----------------------------

実施時間	16時45分まで ⇒ 18時00分まで
------	---------------------

■ 背景

- 「こどもクラブ待機児童対策緊急3か年プラン」に基づき、児童が安全・安心に過ごすことができる放課後の居場所づくりを推進している。
- 令和6年度から放課後子供教室の実施時間を延長している忍岡小学校及び谷中小学校においては、こどもクラブ待機児童数が減少している。

■ 目的

- 放課後子供教室を通じて、地域住民の協力を得ながら多様な文化・スポーツ・体験活動の機会を提供することで、児童の社会性・自主性・創造性等を育む。
- 放課後対策事業(放課後子供教室、こどもクラブ及び児童館)を一体的に推進し、児童の安全・安心な放課後の居場所を確保する。

■ スケジュール

時期	内容
令和7年4月	実施校拡大 実施時間延長

事業名 6 産前産後の支援の充実

予算額
(うち該当経費) 5億3,981万円
(2億8,241万円)

★ ここが POINT ★

- ▽ 産前産後支援ヘルパーの利用期間、利用上限時間を拡大
- ▽ 妊婦のための支援給付は、現金支給に変更



事業概要

■ 事業内容

事業	内容
産前産後支援ヘルパー	妊産婦への育児や家事支援のためのヘルパー派遣事業 変更点：利用期間を母子健康手帳取得時から産後3年未満までに拡大 利用上限時間を最大288時間に拡大 決定通知書や利用券を電子化
妊婦のための支援給付	妊娠から出産、子育ての相談及び経済的支援事業 変更点：Webカタログギフトから現金支給に変更
産後ケア	産後の母子の心身のケアや育児のサポートを行う産後ケア事業 変更点：支援を要する産婦を受け入れた事業者への加算を新設

■ 背景

- 産前産後支援ヘルパーの利用は、年々増加傾向にある。
- 妊婦のための支援給付は、国の制度変更に伴い、原則現金支給となる。
- 産後うつ等により精神的に不安定であるなど、支援を要する産婦の受入について、対応状況に課題がある。

■ 目的

- 産前産後の育児負担を軽減するとともに、妊産婦を支える事業者への支援も実施することで、産前産後の支援の充実を図る。

■ スケジュール

時期	内容
令和7年4月～	産前産後支援ヘルパー：利用期間及び利用上限時間の拡大
	妊婦のための支援給付：現金支給開始
	産後ケア：事業者に対する加算実施

事業名

7 初心者スポーツ教室
リバーサイドスポーツセンター維持修繕予算額
(うち該当経費)3,003万円
(690万円)

★ ここがPOINT ★

▽ パリ2024オリンピック金メダリスト
本区出身の松山恭助選手が指導する子供向け
のフェンシング教室を実施

事業概要

■ 事業内容

- 松山恭助選手のフェンシング教室の実施

対象	区内在住・在学の小中学生
期間	年間を通じて、毎月2回
会場	台東リバーサイドスポーツセンター第2 武道場等
参加費	無料（要事前申込み）

■ 背景

- 本区出身の松山選手が、パリ2024オリンピックにおいて、フェンシング男子フルーレ団体で金メダルを獲得。金メダリストが誕生したことで、フェンシング競技への興味関心が高まっている。
- 松山選手がフェンシングを始めたきっかけとなったフェンシング初心者教室・一般開放は、平成26年度から休止中。

■ 目的

- 経験する機会の無い、または経験の少ないスポーツに触れる機会を創出することで、スポーツを始めるきっかけを提供する。

■ スケジュール

時期	内容
令和7年4月20日	松山選手を招聘し、安全・気軽にフェンシング体験ができるスマートフェンシングを実施
5月～令和8年3月	毎月2回実施

事業名

8 ICTを活用した健康づくり活動支援

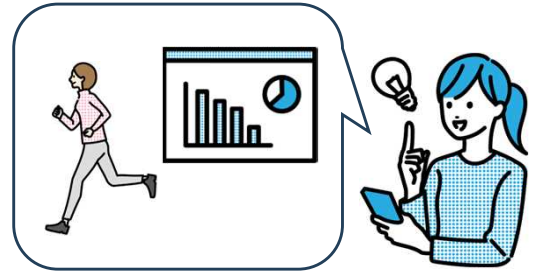
新規

予算額

2,100万円

★ ここがPOINT ★

▽ 健康管理アプリを導入し、区民の健康づくり活動を支援



事業概要

■ 事業内容

- ・ 18歳以上の区民を対象に、歩数計測、健康データの入力、ウォーキングイベントや講演会への参加等の健康づくり活動にポイントを付与。ポイント数に応じてデジタルクーポンを贈呈。
- ・ 健康づくりに役立つ情報や本区の健康づくり事業に関するお知らせをプッシュ型で配信。
- ・ 台東区ウォーキングマップと連動し、ウォーキングコース内の現在位置をアプリに反映。

■ 背景

- ・ 国の「健康日本21(第三次)」において、自然に健康になれる環境づくりや個人の健康データの見える化・利活用が求められている。
- ・ 本区の健康寿命は、23区中で男女とも最下位である。
- ・ 総合健康診査や各種がん検診の受診率が伸び悩んでいる。
- ・ 令和5年度実施の健康づくりと医療に関する意識調査において、健康のための運動習慣があるという回答は、50.9%にとどまっている。

■ 目的

- ・ 様々な健康データの見える化と健康行動を始めるきっかけづくりを支援する。
- ・ 健康意識の向上や健康づくり活動へのポイント付与により健康行動の継続を支援する。

■ スケジュール

時期	内容
令和7年10月	運用開始

事業名

9 認知症高齢者支援の推進

予算額
(うち該当経費)1,973万円
(672万円)

★ ここが POINT ★

- ▽ 認知症の早期発見・早期診断に向けた認知症検診の実施
- ▽ 検診受診者の状況に応じ、地域包括支援センターによる支援を実施



事業概要

■ 事業内容

対象者	65歳、70歳、75歳、80歳で、気づきのチェックリストで20点以上になった方 ※上記以外で、50歳以上の希望者も受診可
受診方法	対象者が検診実施医療機関で、簡易スクリーニング検査を受診 ※自己負担額なし
検査後の支援	検診受診者に対し、地域包括支援センターが検査結果や本人の希望に応じた支援を実施

■ 背景

- ・ 国の推計では、2040年に高齢者の約15%が認知症を有するとされており、認知症高齢者に対する支援が求められている。
- ・ 認知症を早期に発見することで、治療による症状の改善や進行を遅らせる可能性が高くなる。また、症状が軽いうちに、本人や家族が認知症への理解を深めることで、今後の生活に備えることができる。

■ 目的

- ・ 認知症を早期に発見することで、認知症の進行を遅らせることや、症状の改善を図る。
- ・ 認知症検診実施後、地域包括支援センターによる支援を行い、生活の質の改善に繋げる。
- ・ 普及啓発により、認知症に関する正しい理解を促進する。

■ スケジュール

時期	内容
令和7年10月	受診券等配付
12月	認知症検診実施

事業名

10 高齢者緊急一時宿泊

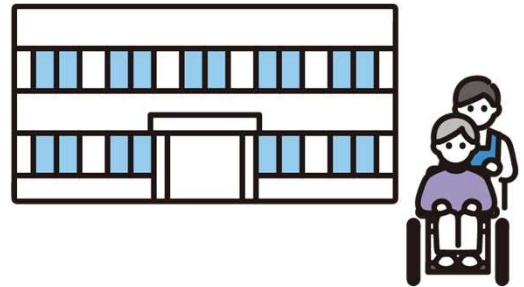
新規

予算額

70万円

★ ここが POINT ★

- ▽ 一時的に在宅での生活を継続できない高齢者に対し、宿泊等のサービスを提供
- ▽ 要介護・要支援認定を受けていない方が対象



事業概要

■ 事業内容

- ・ 家族等の事情により、一時的に介護が受けられなくなった高齢者に、宿泊等のサービスを提供

対象者	65歳以上の区民で、介護する家族の入院、冠婚葬祭の出席等や、一時的な休息により、在宅での生活を継続できない方 ※介護保険制度の要介護・要支援認定者は除く
実施施設	区内特別養護老人ホーム
自己負担額	1人1泊7,500円
利用日数	1回15日

■ 背景

- ・ 「第9期高齢者保健福祉計画」策定時の調査の結果、区に力を入れてもらいたい高齢者福祉施策として「介護している家族の負担の軽減」が2番目に多く、介護者が望む支援では、冠婚葬祭・急病時等に預けられる緊急ショートステイが最も多くなっており、介護する家族等の負担軽減が求められている。

■ 目的

- ・ 介護している家族等の事情により、一時的に在宅で生活ができなくなった高齢者を対象に、緊急で利用できるショートステイサービスを提供することで、介護している家族等の負担軽減を図る。

■ スケジュール

時期	内容
令和7年4月	事業実施

事業名

11 かがやき長寿ひろば
地域による介護予防活動への支援予算額
(うち該当経費)3,104万円
(1,362万円)

★ ここが POINT ★

- ▽ かがやき長寿ひろばを新たに台東一丁目区民館・谷中区民館で実施
- ▽ 介護予防・フレイル予防推進員を配置



事業概要

■ 事業内容

- ・ かがやき長寿ひろば

対象者	60歳以上の区民
内容	健康増進、趣味づくり、教養の向上等のための各種教室・サロンやイベントを開催
会場・実施日時	・ 入谷区民館（火・木・金・土） ・ 【新規実施場所】 台東一丁目区民館（月）、谷中区民館（水）

- ・ 介護予防・フレイル予防推進員

職種	リハビリテーション職
内容	専門知識・技術を活用した運動プログラムの企画や助言等を実施

■ 背景

- ・ 令和4年度から出張型の介護予防・社会参加事業を入谷区民館で実施し、成果が上がっている。
- ・ 教室等の事業運営や、通いの場活動への個別支援を行うにあたり、リハビリテーション職の視点に立った運動プログラムの企画や、参加者の健康状態に応じた助言等を行う専門員の必要性が高まっている。

■ 目的

- ・ 実施場所を拡大することで、より多くの高齢者に介護予防や社会参加の機会を提供する。
- ・ 介護予防・フレイル予防推進員の専門知識・技術を活用し、通いの場活動への個別支援の実施や、介護予防事業の充実を図る。

■ スケジュール

時期	内容
令和7年4月	台東一丁目区民館・谷中区民館事業実施 介護予防・フレイル予防推進員配置

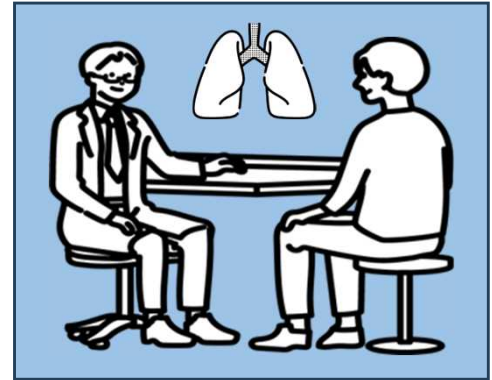
事業名 12 がん検診

予算額
(うち該当経緯)

3億8,716万円
(9,853万円)

★ ここがPOINT ★

- ▽ 肺がん検診の実施医療機関を大幅に拡大
- ▽ 総合健康診査と同時に肺がん検診が受診可能



事業概要

■ 事業内容

	現行	拡大後
検診実施医療機関数	4医療機関	約60医療機関
実施方法	胸部エックス線写真を院内の医師で二重読影	胸部エックス線写真を外部の読影専門機関で二次読影

■ 背景

- ・ 区民の死因の第1位はがんによるもので、特に、肺がんによる死亡が男女とも第1位となっている。
- ・ 肺がん検診の受診率は、他のがん検診より低い状況が続いている。

■ 目的

- ・ 肺がん検診の受診率を向上させ、がんの早期発見・早期治療に繋げる。
- ・ 総合健康診査と肺がん検診を同時に受けられる医療機関を増やし、身近なかかりつけ医での受診を可能にする。

■ スケジュール

時期	内容
令和7年6月	事業実施

事業名

13 はばたき21相談室

予算額
(うち該当経費)5,794万円
(1,575万円)

★ ここがPOINT ★

- ▽ 困難な問題を抱える女性への包括的な相談支援体制を充実
- ▽ AI相談支援システムを導入



事業概要

■ 事業内容

- ・ 相談員(女性相談支援員)の増員による人員体制の強化
- ・ 正確、迅速に相談記録を作成し適切な相談支援を行うため、AIを活用した相談支援システムを導入
- ・ 関係機関や民間支援団体と連携し、支援内容を協議するための支援調整会議を開催
- ・ 若年女性へのDV被害防止等の啓発活動の充実
- ・ ファイナンシャル・プランナー相談の実施
- ・ NPO等の民間支援団体と協働し、シェルター確保及び地域の実情把握や相談者のニーズに寄り添った相談支援の実施

■ 背景

- ・ 女性をめぐる課題は複雑化・多様化・複合化しており、コロナ禍を経て顕在化した困難な問題を抱える女性への相談支援は喫緊の課題である。そうした中、「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」(令和6年4月施行)では、民間団体の特色と強みを活かしつつ支援を進めることが求められている。
- ・ 「男女平等推進行動計画」に「困難な問題を抱える女性支援基本計画」を定め、相談支援を進めている。

■ 目的

- ・ 性的な被害、家庭の状況、地域社会との関係性その他の様々な事情により、日常生活や社会生活を円滑に営む上で困難な問題を抱える女性一人ひとりのニーズに応じ、切れ目ない包括的な支援を行う。

■ スケジュール

時期	内容
令和7年 3月	「困難な問題を抱える女性支援基本計画」策定
10月	AI相談支援システム導入

事業名

14 千束保健福祉センター整備
千束健康増進センター改修
千束自転車保管所改修
防災用千束職員住宅改修
ほおずきの家大規模改修

予算額

【千束】14億3,252万円
令和8年度債務負担行為
20億4,903万円
【ほおずき】1億7,671万円

★ ここが POINT ★

▽ 障害福祉施設の機能強化



事業概要

■ 事業内容

施設	施設概要
千束保健福祉センター	住 所：千束3丁目28番13号 施設内容：重度身体障害者グループホーム等障害者施設、千束自転車保管所、千束健康増進センター、防災用千束職員住宅 整備内容：福祉ホーム「フロム千束」(定員9人+体験2人)を増床し、障害者総合支援法に基づく日中サービス支援型重度身体障害者グループホーム(定員18人+短期入所2人)とする。
ほおずきの家	住 所：千束4丁目51番9号 施設内容：通所訓練事業、宿泊訓練事業、緊急一時保護 整備内容：1階では通所訓練や宿泊訓練等の支援について、知的障害者に加えて身体障害者の受入もできる施設とする。

■ 背景

千束保健福祉センター	本区では障害者の重度化・高齢化に伴い、重度身体障害者グループホームの不足や日中・夜間支援への対応が課題となっている。
ほおずきの家	昭和63年の建設から30年以上が経過し、老朽化対応が必要となっている。

■ 目的

- ・ 特別養護老人ホーム千束跡を活用して、重度身体障害者グループホームを整備する。
- ・ ほおずきの家の老朽化対応に併せて、バリアフリー化を行う。

■ スケジュール

時期	内容
令和7年8月～令和8年12月	千束保健福祉センター整備工事
8月～令和8年 2月	ほおずきの家大規模改修工事



担当課:

障害福祉課 (全般に関すること)
保健サービス課 (千束健康増進センター)
交通対策課 (千束自転車保管所)
人事課 (防災用千束職員住宅)

電話:03-5246-1211
電話:03-3847-9441
電話:03-5246-1311
電話:03-5246-1060

事業名

15 災害対策本部機能の充実 水・食料・生活必需品の備蓄 井戸・備蓄倉庫等の維持管理 帰宅困難者対策の推進

予算額
(うち該当経費)

1億6,204万円
(3,789万円)

★ ここがPOINT ★

- ▽ 災害時のトイレ環境改善等の指針策定
- ▽ 浅草地区の帰宅困難者対策を推進
- ▽ 茨城県筑西市に広域防災備蓄倉庫を設置



事業概要

■ 事業内容

災害時トイレ確保・管理指針策定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時のトイレ環境改善対策及び普及・啓発 ・ 施設管理者等に対し、災害時のトイレ使用確認手順を明示
浅草地区帰宅困難者対策推進協議会設立・運営 避難誘導指針策定に向けた検討	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区と地域が一体となり、浅草地区の帰宅困難者対策として避難場所への誘導等を検討・協議 ・ 浅草地区の帰宅困難者対応訓練等を実施
広域防災備蓄倉庫の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 連携都市である筑西市に広域防災備蓄倉庫を設置し、食料品等を備蓄 ・ 姉妹・友好都市等から寄せられる支援物資の一時受入拠点として活用

■ 背景

- ・ 災害時のトイレ環境の悪化に伴い、使用を控えることで体調不良等の発生が問題となっている。
- ・ 浅草地区は、多くの来街者が訪れるため、災害時の避難誘導等に取り組む必要がある。
- ・ 安定的な物資の確保と供給を図るため、防災備蓄品の強化に取り組む必要がある。

■ 目的

- ・ 災害時のトイレ対策を行うことで、円滑な初動体制の確保に努め、災害対応力の強化を図る。
- ・ 大規模災害時に、来街者も安全安心に避難することができる体制等の構築に取り組む。
- ・ 被災リスクを分散化し、物資を安定的に供給するため、広域防災備蓄倉庫を整備する。

■ スケジュール

時期	内容
令和7年4月～	災害時トイレ確保・管理指針策定 浅草地区帰宅困難者対策推進協議会の設立・運営 避難誘導指針策定に向けた検討
6月～	広域防災備蓄倉庫設置

事業名

16 総合自転車対策

新規

予算額

3億1,389万円

★ ここがPOINT ★

- ▽ 365日対応のコールセンターを設置し、撤去確認等にいつでも対応
- ▽ 駐輪場稼働状況をリアルタイムで把握することで、自転車利用者の駐輪場利用を促進



放置自転車

事業概要

■ 事業内容

- ・ 365日対応のコールセンターを設置し、撤去確認等の問い合わせ環境を整備することで、土・日・祝日の放置自転車を撤去
- ・ 放置自転車の巡回指導員が、駐輪場稼働状況をリアルタイムで把握することで、駐輪場利用を一層促進
- ・ 各駐輪場で全ての手続きをオンライン申請可能にすることで、利用者の利便性を向上

■ 背景

- ・ 土・日・祝日に放置自転車撤去を求める区民の声が多いものの、平日のみの対応となっている。
- ・ 放置自転車が特に多いTX浅草駅やJR御徒町駅付近では近くに駐輪場があるものの、十分に利用されていない。
- ・ 利用者情報は各駐輪場で紙台帳により管理されており、各申請は各駐輪場窓口に限定されているため、利用者にとって不便である。

■ 目的

- ・ 放置自転車撤去の強化とともに、駐輪場の利用を一層促進することで、公共の場から放置自転車をなくし、安全な自転車空間と歩行者空間の確保を図る。

■ スケジュール

時期	内容
令和7年10月	事業実施

事業名 17 上野地区まちづくり推進

予算額 1億8,496万円

★ ここが POINT ★

▽ 上野らしい風格や賑わいのある都市空間の創出に向け、地域や事業者等の多様な主体と連携したまちづくりを推進



事業概要

■ 事業内容

- 「上野地区まちづくりビジョン」(令和2年3月策定)の実現に向け、令和6年度末に策定予定の「上野地区景観形成ガイドライン」を踏まえながら、関係機関や事業者、まちづくり組織等、多様な主体との協議・調整を進め、まちづくり誘導方策の検討等の取組みを推進

まちづくり誘導方策検討	<ul style="list-style-type: none"> 上野地区に必要な都市機能の導入や土地利用の増進に向け、まちづくり誘導方策を検討
ウォーカブルまちづくり推進に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> 中央通りや上野駅パンダ橋において、公民連携による公共空間利活用の社会実験を実施し、歩行者の回遊状況や交通への影響の検証を行い、道路空間等の活用の可能性を検討 パブリックスペースの利活用等、地域主体のまちづくり活動を推進するための仕組みや体制を検討
上野公園北部エリアにおける回遊性向上	<ul style="list-style-type: none"> 上野公園北部エリアにおける回遊性向上を図るため、主要な歩行者ルートである台第62号線の修景整備に向けた道路詳細設計を実施

■ 背景

- 上野駅周辺の建物が更新時期を迎えつつあり、「上野地区まちづくりビジョン」に掲げる2040年代頃の将来像の実現に向け、まちづくりを適切に誘導していくことが求められている。
- 上野地区全体における回遊性向上に向けた検討を進めており、歩行者優先でわかりやすく、居心地が良く、歩きたくなる都市空間の創出を図る等、ウォーカブルなまちづくりを推進している。

■ 目的

- 2040年代頃の上野の将来像と取組みの方向性を示す「上野地区まちづくりビジョン」に基づき、多様な主体による計画的かつ一体的なまちづくりを推進し、上野地区の魅力や価値の更なる向上を図る。

事業名 18 鶯谷駅周辺まちづくり検討

予算額 1,788万円

★ ここがPOINT ★

- ▽ 社会実験としてアーバンファーマーミングを実施
- ▽ 鶯谷駅周辺の基盤整備についての検討を推進



プランター設置(イメージ図)

事業概要

■ 事業内容

- ・ **鶯谷公園を活用した社会実験**
 - ・ 区民が参加できる社会実験として、鶯谷公園内に設置する大型プランターで季節の野菜を育てる、アーバンファーマーミング(※)を実施
 - ※ アーバンファーマーミング：農地ではない都市部の空間を活用した都市型農業
 - ・ 収穫時等にはイベントを開催し、地域住民の交流を図ることで、まちづくりへの機運を醸成
- ・ **鶯谷駅周辺の基盤整備検討**
 - ・ 関係機関とともに、鶯谷駅北口及び南口における交通結節機能の向上や駅利用者の利便性の向上に向け、駅とまちを一体とした基盤整備の検討を推進

■ 背景

- ・ 本区の「都市計画マスタープラン」において、鶯谷駅周辺地域を含む根岸・入谷地区は、まちづくり推進重点地区に位置付けられ、賑わいの創出や防災性の向上等の課題が示されている。
- ・ これまでに開催した鶯谷駅周辺まちづくりワークショップ等では、鶯谷公園を利活用した地域交流事業を希望する意見が増えている。

■ 目的

- ・ 鶯谷駅周辺まちづくりの機運醸成を図り、魅力あるまちづくりを推進する。
- ・ 地域住民及び駅利用者の利便性の向上や地域の活性化を図る。

■ スケジュール

時期	内容
令和7年4月	鶯谷駅周辺の基盤整備検討に着手
5月	鶯谷公園を活用した社会実験開始

事業名

19 プロジェクト普及啓発
地域緑化推進予算額
(うち該当経費)2,248万円
(87万円)

★ ここが POINT ★

- ▽ 身のまわりで花や緑を育てよう
花とみどりのコンテスト「室内栽培部門」の新設
ベランダ緑化助成の新設
ベランダガーデニング講習会の実施

事業概要

■ 事業内容

- 身のまわりで花や緑を育てるための新たな取り組み

事業	内容
花とみどりのコンテスト	花とみどりのコンテストに「室内栽培部門」を新設
ベランダ緑化助成	ベランダにおいて花や緑を増やすため、設置費用の一部を助成
ベランダガーデニング講習会	ベランダでのガーデニング方法、ルールやマナー等を講習し、花の心の普及啓発及び活動への参加促進を図る

■ 背景

- 令和6年度に実施した「花とみどりの基本計画中間改定」における意識調査で、区民・事業者の約5割が花や緑を育てている。また、「育てている場所・育てたい場所」として「ベランダや室内」が多い結果となった。
- 花や緑をさらに増やすため、区内の8割を超える住宅が共同住宅であることや、平面的なスペースが限られる本区の特性を踏まえた支援が必要である。

■ 目的

- 10年目を迎える花の心プロジェクトの更なる啓発と参加を促すため、多くの方が花や緑に関心を持ち、ふれあう機会を提供する。

■ スケジュール

時期	事業
令和7年夏	花とみどりのコンテスト「室内栽培部門」作品募集案内 ベランダ緑化助成開始
令和8年冬	ベランダガーデニング講習会実施

事業名

20 国内都市交流推進

予算額
(うち該当経費)1,218万円
(133万円)

★ ここが POINT ★

- ▽ 姉妹都市への植樹ツアーを開催
- ▽ 植樹や自然体験を通じて、交流を深め、森林保全への意識を醸成



令和6年度開催時の様子

事業概要

■ 事業内容

- ・ おおさき未来の森づくり植樹ツアー

対象	区内在住の小学生以下の子供とその保護者
定員	10組20名
実施日程	令和7年10月(1泊2日)
植樹場所	大崎市内の市有林

■ 背景

- ・ 姉妹都市である宮城県大崎市主催のおおさき未来の森づくり事業は毎年開催。
- ・ 令和6年度台東区・大崎市姉妹都市提携40周年を記念して、台東区民が植樹イベントに初めて参加。
- ・ 定員を超える申込みがあり、ニーズが高い。

■ 目的

- ・ おおさき未来の森づくり植樹イベントに区民が参加し、植樹や自然体験を行うことで、交流を深めるとともに、森林保全への意識を醸成する。

■ スケジュール

時期	内容
令和7年10月	植樹ツアー開催

事業名

21 我が社の環境経営推進

予算額
(うち該当経費)2,388万円
(150万円)

★ ここが POINT ★

▽ CO₂の排出量を可視化するサービスの導入及び運用経費の一部を助成

事業概要

■ 事業内容

- 現在行っている省エネ診断、省エネ機器等の設置助成等に加え、事業活動におけるCO₂排出量を可視化し、CO₂削減に向けた分析機能や取組提案を行うサービス(CO₂排出量可視化サービス)の導入及び運用経費の助成を新たに実施。

助成対象期間	助成対象経費	助成金額
3か月以上、最長1年	サービス利用に要する初期費用及び利用料の合算額(消費税を除く)	対象経費の2分の1(上限額：15万円)

■ 背景

- 今後、ビジネスにおける脱炭素化の進展が見込まれ、中小企業においても脱炭素化に向けた取組みを段階的に進めることが必要である。
- 中小企業にとって、脱炭素化はコスト増等の課題があり、経営的に困難な取組みである。

■ 目的

- 区内中小企業における脱炭素化の取組みを促進・支援するCO₂排出量可視化サービスの導入及び運用経費を支援することで、事業者の環境経営(脱炭素経営)を推進し、区内におけるCO₂排出量の更なる削減を図る。

■ スケジュール

時期	内容
令和7年4月	申請受付開始

事業名

22 職員のICTリテラシー向上
スマート窓口の整備

新規

予算額
(うち該当経費)3,732万円
(2,998万円)

★ ここがPOINT ★

- ▽ DXの更なる推進に向けて、人材育成を強化
- ▽ 窓口業務の最適化に向けたBPRを実施



事業概要

■ 事業内容

事業	内容
DX人材育成の強化	庁内におけるデジタルツールの活用促進、BPRの相談・支援を行う職員として、(仮称)DX推進サポーターを配置し、サポーター向けの研修や勉強会を実施
窓口業務のBPR	転入・転出手続き等について、標準準拠システムへ移行後に速やかに「書かない、待たない窓口」を実現するため、窓口業務の最適化に向けたBPRを実施

■ 背景

- ・ 今後の区政運営において、人材確保や財政状況は厳しい局面に立たされる可能性があり、限られた人材で一層の事業効果を上げられるよう、DXの取組みをさらに加速させる必要がある。

■ 目的

- ・ 庁内のDX推進体制や人材育成の強化に取り組むとともに、デジタル技術の活用を拡大していくことで、区民サービスの向上や業務の効率化を図る。

■ スケジュール

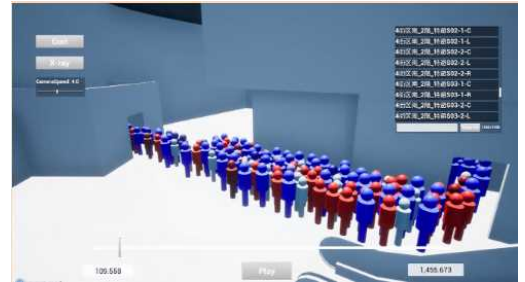
時期	内容
令和7年4月～	(仮称)DX推進サポーター募集・育成開始 窓口業務の最適化に向けた検討開始

事業名 23 まちづくりDXの推進

予算額 8,536万円

★ ここがPOINT ★

▽ 3D都市モデルやビッグデータ等を活用した
避難シミュレーションの実施



避難シミュレーションイメージ
国土交通省ホームページ：
PLATEAU UseCase「防災エリアマネジメントDX」

事業概要

■ 事業内容

3D都市モデル整備 (地下街)	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度に整備した区全域地上部の3D都市モデルに引き続き、上野地区及び浅草地区における地下街の3D都市モデルを整備
帰宅困難者 避難シミュレーション	<ul style="list-style-type: none"> 上野地区及び浅草地区における地上部・地下街の3D都市モデルや人流等のビッグデータを活用し、帰宅困難者の避難シミュレーションを行うことで、災害時に混雑・渋滞が予想される箇所の可視化や対策案を検証 災害対策事業と連携し、地域の関係者と図上訓練を実施する等、3D都市モデルを活用したイメージ共有や住民参加、効果的な計画立案等を推進

■ 背景

- 国土交通省による3D都市モデル整備事業(Project PLATEAU)が開始され、まちづくりをはじめ様々な分野で3D都市モデルの活用が推進されている。

■ 目的

- 直感的な理解促進のほか、多様な主体のまちづくりへの参加や創造的な意見の汲み上げを図り、円滑な合意形成や効率的な政策判断を推進する。
- 3D都市モデルを中心としたデータ基盤を構築することで、まちづくりのみならず様々な分野における政策へのDXを推進し、スマートシティの実現を図る。

事業名 24 おくやみコーナー運営


 新規

予算額 500万円

★ ここがPOINT ★

- ▽ 亡くなられた方に関する手続きを行う
おくやみコーナーの実施
- ▽ おくやみハンドブックを作成し、ご遺族の負担を軽減



事業概要

■ 事業内容

事業	内容
おくやみコーナー	亡くなられた区民に関する必要な手続きを抽出し、申請受付やご案内を実施(週3日、予約制)
おくやみハンドブック	死亡後に必要な手続きを包括的に掲載したハンドブックを配付(死亡届受付時)

■ 背景

- ・ 大切な方を亡くされたご遺族にとって、故人に関する様々な手続きは大きな負担となっており、多岐にわたる手続きを円滑に進めるための支援が求められている。

■ 目的

- ・ 亡くなられた区民に関する手続きをワンストップで行うコーナーを実施するほか、死亡後に必要な手続きを包括的に掲載したハンドブックを作成し、ご遺族の不安や負担の軽減を図る。

■ スケジュール

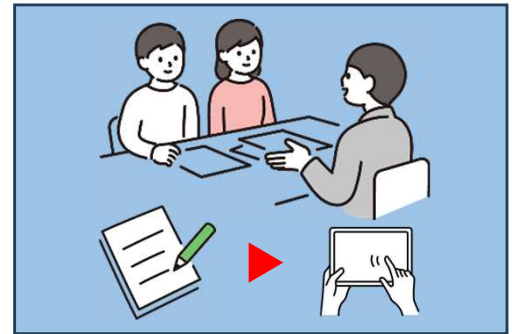
時期	内容
令和7年6月1日	おくやみハンドブック配付開始
7月1日	おくやみコーナー開始

事業名

25 いっとき保育
要保護児童支援ネットワーク予算額
(うち該当経費)1億3,950万円
(1,727万円)

★ ここが POINT ★

- ▽ タブレットアプリを活用した相談業務支援サービスを新たに導入
- ▽ AI相談支援システムに生成AIによる要約機能を追加し、業務効率化を推進
- ▽ 子育て情報案内を導入し、区民の利便性を向上



手書きからタブレットの入力へ

事業概要

■ 事業内容

- ・ タブレットアプリを活用した相談業務支援サービスを新たに導入
- ・ 令和6年度に導入した電話相談におけるAI相談支援システムに、生成AIによる要約機能を追加
- ・ いっとき保育等、本区の子育て支援事業について、利用者が簡単な質問に回答することで、ご自身にあったサービス・手続きが案内されるシステムを区ホームページ上に導入

■ 背景

- ・ 児童虐待や養育困難等の新規養護相談数は、年間約1,000件となっている。子供の命に関わる養護相談の内容を正確に把握し、必要な支援に迅速に繋げる必要がある。
- ・ 児童の一時預かりサービス等、類似した子育て支援事業について、どのサービスが自分にあるのか、区民にとってわかりにくい状況である。

■ 目的

- ・ 相談業務にタブレットアプリを活用することで、職員間の情報共有や支援方針の決定を迅速化し、必要な支援に繋げる。
- ・ AI相談支援システムに、生成AIによる要約機能を追加することで、相談記録の作成時間の削減等、職員の業務効率化を図る。
- ・ 区民のニーズにあった子育て支援サービスを案内することで、利便性の向上を図る。

■ スケジュール

時期	内容
令和7年4月	AI相談支援システムに要約機能追加
7月	タブレットアプリ稼働
8月	子育て情報案内開始

事業名

26 大河ドラマ「べらぼう」活用推進
(まちの賑わい創出の取組み)

予算額

2億9,084万円

★ ここがPOINT ★

- ▽ 大河ドラマ館、江戸新吉原耕書堂等を運営
- ▽ 区内回遊の促進や関連イベントの開催



江戸新吉原耕書堂

事業概要

■ 事業内容

- ・ 台東区大河ドラマ「べらぼう」活用推進協議会にて、様々な事業を実施
 - ・ 「べらぼう 江戸たいとう 大河ドラマ館」、「たいとう江戸もの市」及び「江戸新吉原耕書堂」の運営
 - ・ 出演者等を招いたイベント「(仮称)蔦重まつり」等の実施
 - ・ ポスターや小冊子、広告掲載等によるプロモーション活動の実施
- ・ 江戸関連作品(三浦宏氏作品等)の展示
- ・ ゆかりの地を巡る周遊イベントの実施

■ 背景

- ・ 大河ドラマ「べらぼう～蔦重栄華乃夢噺～」の放送が始まり、ドラマの舞台地である本区の歴史と文化には注目がさらに集まることが期待される。

■ 目的

- ・ 台東区大河ドラマ「べらぼう」活用推進協議会を主体として、大河ドラマ館の運営や関連イベントの実施等により、まちの賑わい創出や区内経済の更なる活性化を図る。

■ スケジュール

時期	内容
令和8年1月まで	大河ドラマ館等運営

担当課:文化振興課
電話:03-5246-1145

担当課:観光課
電話:03-5246-1150

事業名

27 大河ドラマ「べらぼう」活用推進
(区内事業者支援による地域活性化)

予算額

3,546万円

★ ここが POINT ★

- ▽ 主人公「蔦屋重三郎」が生まれ育った浅草北部地域の事業者の魅力を発信
- ▽ 江戸文化をテーマとした商品等を区外の主要駅等で展示・販売



江戸文化をテーマに開発した様々な商品

事業概要

■ 事業内容

- ・ 若い世代をターゲットとしている女性ファッション誌編集部と連携し、大河ドラマ「べらぼう」の主人公「蔦屋重三郎」が生まれ育った浅草北部地域の事業者の魅力を掘り起こし、SNS等による情報を発信
- ・ 区内中小企業が取り扱う江戸文化をテーマとした商品等、台東区産の商品を中心に、JR東日本の主要駅や区内商業施設で展示・販売
- ・ 大河ドラマを契機とした商品開発に係る経費の助成や、新商品開発に向けた事業者交流促進プログラム「ジャイアント・ステップ」を実施

■ 背景

- ・ 本区を主な舞台とした大河ドラマ「べらぼう」の放映が始まり、江戸文化の魅力を取り込んだ商品・サービスに対する国内外消費者の購買意欲の向上が期待されている。
- ・ 新たな顧客の獲得に繋げるため、新商品等を発信・販売する場が求められている。

■ 目的

- ・ 大河ドラマの放映を契機とした区内事業者の新たな挑戦を支援することで、企業価値の向上と区内産業の活性化を図る。

事業名

28 生誕100年 朝倉響子展

予算額

918万円

★ ここが POINT ★

- ▽ 令和7年は、彫刻家・朝倉響子氏の生誕100年
- ▽ 本区に寄贈された朝倉響子作品を展示・公開



朝倉響子作品「帽子」

事業概要

■ 事業内容

事業	期間	会場
生誕100年 朝倉響子展	令和7年5月11日(日)～21日(水)	上野の森美術館ギャラリー
◀関連事業▶		
特集「朝倉撮が描いた妹・響子」	令和7年3月7日(金)～6月4日(水)	朝倉彫塑館
特別展「生誕100年 ASAKURA Kyoko」〔仮称〕	令和7年9月13日(土)～12月14日(日)〔予定〕	
朝倉響子作品展示	令和7年4月～令和8年1月	庁舎1階 台東アートギャラリー

■ 背景

- 令和7年は、名誉区民・朝倉文夫氏の次女である彫刻家・故 朝倉響子氏の生誕100年の節目の年である。

■ 目的

- 平成29年に寄贈された朝倉響子作品を展示・公開し、一人でも多くの方に文化芸術の鑑賞機会を提供する。

■ スケジュール

時期	内容
令和7年5月	展覧会開催
令和8年3月	記念誌発行

事業名

29 観光統計・マーケティング調査の実施
海外プロモーション推進予算額
(うち該当経費)4,805万円
(3,795万円)

★ ここが POINT ★

- ▽ 浅草文化観光センターで商品マーケティング調査を実施
- ▽ タイ・バンコクの新たな商業施設(縁結び等)でテストマーケティングを実施



タイ・バンコクでのテストマーケティング

事業概要

■ 事業内容

- ・ **インバウンド・海外市場セミナー及び訪日外国人観光客・商品マーケティング調査の実施**
 - ・ 本区を訪れるインバウンドの動向、海外市場や国、エリアごとの消費行動の違い、インバウンド・海外市場を念頭に置いた商品開発等に関するセミナーを実施
 - ・ セミナーを受講した事業者の商品を中心に、価格やデザイン、ストーリー等について意見を収集するため、浅草文化観光センターでインバウンドを対象とした商品マーケティング調査を実施し、今後の観光振興に活用するとともに、参加事業者がインバウンド・海外市場へ進出する際に活用
- ・ **タイ・バンコクの商業施設でテストマーケティング及び現地バイヤーとの商談会を実施**
 - ・ タイ・バンコクの商業施設で、引き続きテストマーケティングを行うとともに、新たに「縁結び」(オフィスビル内のテストマーケティングスペース)等、これまでとは異なる購買層をターゲットとした販売機会を提供
 - ・ 現地バイヤーとオンラインでの意見交換の機会を提供

■ 背景

- ・ 2024年の訪日外国人観光客が過去最多を記録する中、エリア(欧米豪/東アジア/東南アジア)や国ごとに異なる消費傾向を持っており、インバウンドの地域特性を掴むことの重要性が高まっている。
- ・ 人口減少等により、国内市場が頭打ちになる中においても、事業者が事業を継続・発展していくためには、新たな市場を開拓することが求められている。

■ 目的

- ・ 本区を訪れるインバウンドを対象に、商品マーケティング調査を実施することにより、区内中小事業者の商品開発や経営戦略策定に役立てるとともに、観光振興施策に活用する。
- ・ 本区の産業と商品をPRするとともに、海外販路開拓を支援することで、区内産業の活性化を図る。

■ スケジュール

時期	内容
令和7年10月	商品マーケティング調査
12月	テストマーケティング・商談会実施

事業名

30 上野の山文化ゾーンフェスティバル
江戸まちたいとう芸楽祭予算額
(うち該当経費)4,716万円
(1,349万円)

★ ここが POINT ★

- ▽ 寛永寺創建四百周年記念イベントを実施
- ▽ 初代林家三平生誕百年関連事業を実施



寛永寺根本中堂

事業概要

■ 事業内容

- ・ 上野の山文化ゾーンフェスティバル
 - ・ 毎年9月～11月にかけて開催する上野の山文化ゾーンフェスティバルにおいて、例年実施しているガイドツアーや文化施設での講演会等に加え、特別企画として寛永寺創建四百周年記念イベントを実施
- ・ 江戸まちたいとう芸楽祭
 - ・ 毎年10月～2月にかけて開催する江戸まちたいとう芸楽祭において、芸能・映画・演劇等のプログラムに加え、初代林家三平生誕百年関連事業を実施

■ 背景

- ・ 上野は、多くの重要な文化施設等が集まる文化・芸術の発信地であり、令和7年は上野の山に位置する東叡山寛永寺が創建四百周年にあたる節目の年となる。
- ・ 本区は浅草の大衆芸能をはじめ、豊富な芸能・伝統文化を有しており、令和7年は初代林家三平の生誕百年にあたる節目の年となる。

■ 目的

- ・ 東叡山寛永寺創建四百周年を契機とし、地域一体となって上野の山の更なる魅力を広く発信する。
- ・ 江戸まちたいとう芸楽祭の中で、これまで以上に区民や来街者が、本区の芸能・伝統文化に気軽に触れられる機会の充実を図る。

■ スケジュール

時期	内容
令和7年 9月～11月	上野の山文化ゾーンフェスティバル開催 (寛永寺創建四百周年記念イベントは10月に実施)
10月～令和8年2月	江戸まちたいとう芸楽祭開催 (初代林家三平生誕百年関連事業は期間内に実施)

事業名 31 経営相談

予算額 5,938万円
(うち該当経費) (950万円)

★ ここが POINT ★

- ▽ 初期相談から中小企業診断士が対応
- ▽ 助成金利用事業者に対する申請前や事業終了後の相談支援を強化



事業概要

■ 事業内容

- ・ 中小企業振興センターに、企業力活性化相談員(中小企業診断士)を新たに配置し、助成金利用事業者に対する申請前や事業終了後の相談支援等を強化
- ・ 相談員は、事業者にとって最適な支援メニューを紹介することで、新たな経営課題の気づきに繋がられるよう担当制とし、伴走型相談を強化

相談日 月～金曜日(祝日・年末年始を除く)

相談場所 中小企業振興センター

■ 背景

- ・ 中小企業支援に関して、各支援機関から多種多様な支援策が展開されており、小規模事業者だけでは、最も有用な制度を選択することが難しい。
- ・ 中小企業診断士等の専門家による相談は予約制で、事業者の希望する日時に相談することが難しい場合がある。

■ 目的

- ・ 支援策を活用したい区内中小企業に対して、初期段階から専門家による相談支援を実施することで、助成金等の支援効果を高め、経営力の向上を図る。

■ スケジュール

時期	内容
令和7年4月	事業実施

事業名 32 企業・人材育成支援

予算額 5,878万円
(うち該当経費) (1,000万円)

★ ここがPOINT ★

▽ 区内中小企業の人材確保に要する経費を一部助成



事業概要

■ 事業内容

助成率	1/2
限度額	20万円
助成対象経費	求人広告等の掲載費用、就職説明会出展費用、外国人を採用する際に発生する費用等

■ 背景

- 令和5年度に実施した産業実態調査において、サービス業をはじめとして、必要人材の確保が経営上の課題として挙げられている。

■ 目的

- 区内中小企業の人材確保に要する経費の一部を助成することで、経営力の向上と人材育成を促進し、産業の振興を図る。

■ スケジュール

時期	内容
令和7年4月	事業実施